



交流支援員 **ノミン**

月刊 ゴヨゴヨ

皆さん こんにちは！

モンゴルのゾーンモド市出身で交流支援員のノミンです。

今月の「月刊ゴヨゴヨ」のコーナーでは、モンゴルの伝統楽器「馬頭琴（モリン・ホール）」についてご紹介します。

モンゴル人は歌を歌うのが大好きです。中でも、民謡「オルテイン・ドー（長歌）」が人気です。歌詞は馬、ふるさと、大草原の自然、お母さんを歌ったものが多く、人々の心の郷愁をかきたてます。それは、モンゴルの伝統楽器の馬頭琴（モリン・ホール）の、美しいしっとりとした音色で伴奏するからです。馬頭琴は馬の頭の彫刻をさおの先につけた二弦の楽器で、遊牧民の楽器として昔から親しまれてきました。馬頭琴の弦は馬のしっぽの毛を使っています。モンゴルの馬の毛は切れにくいというえ、音がとてもいいのです。

馬頭琴は日本では「スーホの白い馬」という絵本でよく知られています。ところが、この物語は中国の内モンゴル自治区のもので、モンゴルでは「フフ・ナムジル」という物語がよく知られています。いずれも愛している馬が殺されてしまいその馬を偲んで、この楽器が作られたという物語です。

馬頭琴はモンゴルの広い草原に美しい音を響かせて、そのメロディーが人々を幸せにします。幸せになるのは人々だけではありません。モンゴルでは、馬頭琴の演奏と歌で、ラクダの親子をなだめて、仲直りさせるという習慣があります。ラクダの親子が仲直りするとお母さんラクダは涙をこぼしながら、子ラクダにお乳をあげます。この習慣は2015年にユネスコ無形文化遺産に登録されています。



”よくできた馬頭琴は風だけで、良い曲を弾くんだよ”と言われます。

あなたも 農業委員会で活躍しませんか!!

募集



日南町では、農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期満了に伴い、新たな委員を募集します。

地域の農地や農村を守り、地域農業を元気にしていくため、年齢や性別にかかわらず、多様な人材が求められています。皆様の積極的な応募をお待ちしています。

詳しくは農業委員会事務局へお問い合わせいただくか町ホームページをご覧ください。

	農業委員	農地利用最適化推進委員
定数	10人	9人
任期	令和7年5月19日から 令和10年5月18日まで	農業委員会からの委嘱の日から 令和10年5月18日まで
報酬	月額36,000円	
主な業務内容	総会での審議、申請案件に係る現地調査、農地等の利用の最適化の推進に係る農業委員会の意思決定及び諸活動等	担当地区における現場活動（農地等の利用の最適化の推進、農地の利用状況調査）、農業委員会総会における活動報告及び意見申述等
選任資格	次のいずれかに該当する人は応募できません。 ・破産手続開始の決定を受けて復権を得ない人 ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人 ・町が設置する他の付属機関等の委員である人	

○募集期間 1月6日（月）から2月7日（金） 書類必着

○申込先 日南町農業委員会事務局 ☎0859-82-1902

※応募用紙、推薦用紙は農業委員会事務局で又は日南町公式ホームページよりダウンロードできます。

